



# 訪れたいまち

## 滋賀県彦根市

琵琶湖の東に位置する滋賀県彦根市。いまでも江戸時代に旧彦根藩井伊家のお膝元として繁栄した城下町の面影を色濃く残す。今回は、歴史的風致維持向上計画の認定市であり、「優秀観光地づくり賞金賞(国土交通大臣賞)」も受賞している彦根を訪れてみました。

新幹線米原駅まいばらから在来線に乗り換えて一駅。古くから交通の要衝として栄えてきた町ということもあり、アクセスは思いのほかいい。

彦根駅の改札を出ると、まずは旧彦根藩初代藩主、井伊直政公の銅像がお出迎え。駅から西に真っすぐ延びる「駅前お城通り」の向こうには、雄々しい彦根城が建つ彦根山の青葉が見えている。



井伊直政公銅像

旧彦根藩初代藩主。徳川家康の側近として名高く、戦国屈指の精鋭部隊「井伊の赤鬼軍団」を編成。幕末まで井伊氏の軍装は赤が基本とされた。

層高まっている。「私は彦根が好きなんです。俗化される時代が続き、だんだんと昔の町なみが薄れつつある中、彦根にはまだまだ細い路地があったりして楽しいんです。それに、一時は衰退した町を『彦根城』から『夢京橋キャッスルロード』、そして『四番町スクエア』へと、点から線、線から面へとといった、人の流れを

彦根市は、国宝・彦根城を中心に江戸時代の城下町の風情が色濃く残る町だが、近年は、住民主導のまちづくりにより、江戸町家風に統一した商店などが並ぶ「夢京橋キャッスルロード」や、大正ロマンをコンセプトとした「四番町スクエア」などが誕生し、新しい魅力を発信している。また、2007年の「国宝・彦根城築城400年祭」をきっかけに、市民団体などによる彦根の観光を盛り上げる動きが一



夢京橋キャッスルロード

慶長8年(1603)の彦根城築城とともに行われた城下町の町割りはこちらから始まった。昭和60年(1985)から街路整備が実施されることになり、城下町の風情を失うことなく伝統的な町なみを再生することになった。その後、住民主導の新しいまちづくりは平成11年(1999)に整備を終えた。

# 散策マップ



彦根まちあるきのご案内は、われわれボランティアガイドにお任せください



ボランティアガイドの村田昌彌さん

## 招き猫の町のルーツ



いま日本で最も有名なゆるキャラ「ひこにゃん」。国宝・彦根城築城400年祭のメインキャラクターとして登場し、閉幕後は彦根市のキャラクターとして活躍。彦根とどう関係があるのか？調べてみると、江戸初期に旧彦根藩二代藩主の井伊直孝公が鷹狩りの帰りに寺（豪徳寺：東京・世田谷区）の前を通りかかると、白い猫がしきりに手招きして、突然の雷雨の難からお守りしたと伝えられている。それが日本の招き猫発祥と言われており、以来、豪徳寺は井伊家の菩提所として大いに栄えたそう。吉運を呼ぶ招き猫と彦根との関係に納得。「ひこにゃん」はその白い招き猫と井伊軍団のシンボルである朱塗りのかぶとを合体させて生まれたキャラクターなのだ。



**商店街有志たち、起ち上がる**  
いまは食文化をテーマににぎわいを見せる「四番町スクエア」。かつては空洞化が進み活気がなくなる中、起ち上がり再生させたのが旧市場商店街有志たち。隣接する「夢京橋キャスルロード」の江戸時代からここへ来ると大正時代へタイムスリップする。

意識したまちづくりで見事によりみかえらせることができました。自分たちで守りよみがえらせた町という実感があり、この町に住んでいて良かったなと思うんです」という彦根観光協会常務理事の馬場さんの言葉には、住民が主体となって再生した町への深い愛着が伺われた。

今回案内してくださった、彦根ボランティアガイドの村田さんはこう語る。「会社勤めをしていた時は彦根を出て全国各地を転々としたのですが、やはり彦根が一番いい。こうして彦根を訪れるお客様をご案内し、いい思い出をいっぱい持って、喜んで帰っていただくことにとってもやりがいを感じます」。馬場さん同様、自分たちの町を愛し、慈しんでいる様子が言葉の端々から感じられた。

### 「歴史的風致維持向上計画」とは

地域の歴史的な風情、情緒を活かしたまちづくりを支援する「歴史まちづくり法」（正式名称「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」）が平成20年11月に施行され、彦根市の歴史的風致維持向上計画が、平成21年1月に他の4市（金沢市、高山市、萩市、亀山市）とともに初めて認定された。  
<http://www.mlit.go.jp/crd/rekimachi/nintei/nintei.html>

### 「優秀観光地づくり賞」とは

「優秀観光地づくり賞」（主催：日本観光協会／後援：国土交通省、総務省）は、観光による地域振興を積極的かつ効果的に推進し、他の地域の参考になるような観光地づくりの成果を生み出している団体などを表彰。各地におけるより良い観光地づくりがさらに推進されることを目的としている。  
<http://yuusyuu.nihon-kankou.or.jp/>

彦根観光協会 TEL 0749-23-0001 FAX 0749-26-1919  
<http://www.hikoneshi.com/>  
彦根ボランティアガイド協会 TEL 0749-22-2954 FAX 0749-24-7498  
<http://www.hikoneshi.com/guide/>

彦根では、いまでも息づく旧城下町の伝統的なたたずまいや人々の活動を後世まで末永く守り育てるためのまちづくりを、地域住民とともに意欲的に取り組んでいる。地域に生きる人々の営みを感じるとき、その町の魅力が光を放ち輝き続ける。これからも、古くて新しい町、彦根はますます進化と発展を遂げていくことだろう。

白壁、格子戸、虫籠窓、石畳…と江戸時代の町家風に造られた食事処、菓子屋、土産屋などが並ぶ町なみを歩いていると、この「古くて新しい城下町」は、いつの間にか私たちを歴史の中へ誘いながらも、何か新しい発見をさせてくれる「不思議な町」になっている。